

計算ウィザード → 選択した「計算の目的」に連動して必要な「計算の内容」だけが選択可能になり、
その中から検討したい項目を一括で指定できます。

The image shows a three-step wizard interface for calculations. The first step, '計算目的の選択' (Selection of Calculation Purpose), has a radio button selected for '性能表示壁量計算+梁断面算定' (Performance-based wall quantity calculation + beam cross-section calculation), which is circled in red. A yellow arrow points from this selection to the second step, '計算内容の選択' (Selection of Calculation Content), where the '計算目的' (Calculation Purpose) is set to '性能表示壁量計算+梁断面算定'. This step shows a list of calculation items, with '性能表示に定める壁量の算定' (Calculation of wall quantity specified in performance representation) checked. A yellow arrow points from this selection to the third step, '出力の選択' (Selection of Output), which shows a list of output items, with '基礎の設計' (Design of foundation) checked. A yellow arrow points from this selection to a final output box.

計算目的の選択

計算目的を選択します。

- 令46条壁量計算(4号特例、確認申請申込)
- 性能表示壁量計算(長期優良:2階建てまで)
- 梁断面算定(住宅ローン担保)
- 性能表示壁量計算+梁断面算定
- 許容応力度設計

計算内容の選択

計算内容を選択します。 計算目的: 性能表示壁量計算+梁断面算定

【耐力壁の設計】

- 下部構架材の曲げを考慮した剛性の算定
- 令46条に定める壁量の算定
- 性能表示に定める壁量の算定
- 水平力に対する耐力壁の算定

【各部の設計】

- 柱の設計
- 梁の設計
- 母屋の設計
- 大引の設計

【床倍率の設計】

- 水平積面の検討
- 省略チェックを行う
- 省略しない
- 床倍率のチェック(性能表示)

【二次部材の設計】

- 垂木の設計
- 根太の設計
- 屋根葺き材の設計

【接合部の検討】

- 柱頭柱脚接合金物の検討
- 標準計算法
- 詳細計算法
- N値計算法(グレー本2008)
- N値計算法(告示第1460号)
- 構架材端部接合部の検定
- 標準計算法
- 詳細計算法
- 土台およびアンカーボルトの検定

【基礎の設計】

- 基礎の設計

【その他】

- 転倒の検討
- 層間変形角と剛性率
- 転倒モーメントによる

出力の選択

- ① 選択した計算に関する出力項目のみ表示されます。
- ② その中から出力したい項目を選択することができます。

「性能表示壁量計算+梁断面算定」を選択

選択した計算目的に連動して必要な計算内容だけをガイダンス

選択した計算内容に連動した必要な出力項目をチョイス

ウィザード入力形式(「計算目的」→「計算内容」→「出力の選択」)の画面